

第1回箱根ステップアップキャンプ・実施報告書

実施日 2024年12月21日～22日

1泊2日

主催 ユニバーサル・ピア

箱根ステップアップキャンプ実行委員会

1 はじめに

2024年12月21日（土）から22日（日）にかけて、星槎大学箱根キャンパス・流星館を中心に、箱根湯本および仙石原地域にて「第1回箱根ステップアップキャンプ」を実施いたしました。

まずはじめに、本キャンプにご協力いただいたボランティアの皆様、星槎大学箱根キャンパスの安野様をはじめとする職員の皆様、そして多くの方々からいただいたご支援に心より感謝申し上げます。

本事業は、バリアフリー宿泊施設である流星館を活用し、障がいのある方々とボランティアが共に過ごすキャンププログラムとして、弊社代表の新井の発案により始まりました。具体的には、以下の3つの目的を掲げて実施しております。

1. 障がいのあるユース世代が社会に出る力を身につけられる場の提供
2. 障がいのある方と直接関わる場の創出
3. 介護を担う家族の皆様に、箱根でゆったりと過ごしていただく時間の提供

これらの目的達成を目指し、キャンプの企画・運営を進めてまいりました。

昨年は、モニターキャンプとして実行委員会メンバーが流星館に宿泊し、私たちが思い描くキャンプイベントが実現可能かを確認するため、彫刻の森美術館や大涌谷、箱根神社などの施設を実際に訪れました（詳細は「箱根ステップアップキャンプモニターキャンプ事業報告書」をご参照ください）。その振り返りを基に、今回の「第1回箱根ステップアップキャンプ」の企画を進めました。

当初は、障がい当事者3名、ボランティア3名の参加を想定して募集を行いました。運営体制や受け入れ体制を考慮し、規模を大きくし過ぎない形で実施しました。結果として、当事者1名の参加に留まりましたが、この経験を次回の改善に活かしてまいります（詳細は後述）。

本報告書では、私たちが実施した取り組みや得られた成果、第2回に向けた課題についてご報告させていただきます。この報告書が、箱根で行われている障がい者支援イベントの一つの事例として、多くの福祉団体様の参考となれば幸いです。

今後とも、より良い活動を目指して邁進してまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 実施概要

イベント名	第1回箱根ステップアップキャンプ
実施日	2024年12月21日（土）～22日（日） 1泊2日
開催場所	星槎大学箱根キャンパス・流星館 箱根観光地
主催団体	ユニバーサル・ピア（箱根ステップアップキャンプ実行委員会）
参加者	<p><実行委員会></p> <p>新井 丈晴 ユニバーサル・ピア代表 身障者ディスクゴルファー 薄井 貴之 元HISユニバーサルツーリズムデスク 社会福祉士 池谷 裕次 「温泉旅館みたけ」取締役 古山 彩花 ユニバーサル・ピア副代表 初鹿 正樹 作業療法士 6名</p> <p><一般参加者></p> <p>吉田 大介 薄井 璃子 薄井 結信 坂本 恵子 古山のホームヘルパー 4名 計10名</p>

3 助成金

この度、「第1回箱根ステップアップキャンプ」の開催にあたり、「さわやか福祉財団 助け合い基金」様より15万円の助成金を賜りました。心より感謝申し上げます。

いただいた助成金により、ボランティアの皆様の宿泊費の一部を補助することができ、さらに車椅子用リフト付きキャラバンをレンタルすることが可能となりました。

この移動手段の確保により、活動中の移動がスムーズになり、参加者・スタッフの安全で快適なキャンプ運営が実現しました。

皆様からの温かいご支援があったからこそ、今回のキャンプを成功させることができました。この場をお借りして、改めて感謝の意を表します。

4 事業目的

1.障がいのあるユース世代が社会に出る力を身につけられる場の提供

障がいがあるユース世代が社会で生活する準備をする重要な時期に、計画力やコミュニケーション能力などの必須スキルを身につけ、困ることなく自立できるよう支援します。障がい当事者とボランティアからなる「実行委員会」を組織し、自らが「企画」に参加できる場を提供します。

2.障がいのある方と直接関わる場の創出

障がい福祉を学ぶ学生や、障がいとは無縁の学生や社会人に対し、障がいがある当事者と交流できる場を提供し、新たな気づきや発見が得られる環境を提供します。

3.介護を担う家族の皆様にも、箱根でゆったりと過ごしていただく時間の提供

日頃、障がいがあるお子さんの介護に追われている家族の方々に、気軽に気を休められる場を提供します。お子様を私たちやボランティアに預け、日本有数の温泉地である箱根で、観光や温泉をゆっくり楽しむ時間をお過ごしいただければと考えます。

5 当日の様子

当日のスケジュールは、次のように実施いたしました。

	1日目 (12月21日)	2日目 (12月22日)
午前	10:00 小田原駅東口車椅子駐車場前集合 10:15 小田原駅出発 11:00箱根神社駐車場着 箱根神社散策 12:15 神社内食堂で昼食	7:15 朝食 9:00 星槎大学出発 9:15 仙石原すすき草原散策 10:00 ポーラ美術館見学 (~11:30)
午後	13:30 箱根園水族館着 館内見学 15:00 箱根水族園出発 15:30 星槎大学箱根キャンパス 到着 16:00 居室内で休憩 17:30 入浴 18:45 夕食 20:30 交流会	12:30 箱根湯本駅駅前散策 (~13:15) 14:00 小田原駅前ミナカで昼食 15:00 UMECOにて振り返り 16:00 解散

<各回の様子>

*1日目（12月21日土曜日）

10:00 小田原駅東口車椅子駐車場前集合

小田原駅東口のトヨタレンタカーで福祉車両を借り、東口車椅子駐車場で乗り込みをしました。

当事者3名のうち2名は車椅子から降り座席に移り、1名は電動車椅子に乗ったまま乗車しました。



11:00 箱根神社着

ここから集合の仲間もいたため境内に集まり 参加者全体で自己紹介を行いました。その後参拝やゆっくり境内を見て回りました。

昼食は、境内にある食堂で食べました。

食堂内は少し狭かったのですが、店員さんの計らいにより席を用意してもらい食べました。



13:15 箱根水族園

箱根神社から車で約10分の距離に位置しています。

園内は、段差も少なく広々としていて、車椅子でも自由に見て回ることが出来ました。



16:00 星槎大学・箱根キャンパスに到着

15:00過ぎに箱根水族園を出発し、16:00前に星槎大学箱根キャンパスに到着しました。予定では部屋を借りてプログラムを行う予定でしたが、みんな疲れていたため予定を変更し部屋で休むことにしました。

予定は変更となりましたが、身体を休めることが出来、皆さん活動の疲れが取れた様子でした。

17:30 入浴

男性は問題なく入浴が出来ました。

女性参加者1名が入浴用リフトを必要としたため、昨年ご指導いただいた方法に従い、使用方法をレクチャーしました。



18:45 夕食

写真はありますが、モニターキャンプとは違う食堂で頂きました。鈴木様から食堂の案内や翌朝の説明をして頂きました。

20:30 懇親会

食堂で懇親会を行いました。皆さんで一日の振り返りや2日目の活動予定を話しながら交流や親睦を図りました。

食堂での懇親会は、22時頃に終了しましたが、居室に戻り、夜遅くまで親睦を図りました。



*2日目 (12月22日 日曜日)

7:15 朝食と出発準備

朝早く起きて朝風呂でのんびりする人もいました。

朝食をとっている途中で、安野さんが顔出してくださり挨拶することが出来ました。



9:15 仙石原すすきの高原散策

星槎大学箱根キャンパスを9時に出発し車で15分のすすきの高原を散策しました。

駐車場も非常に近くのところ止めることができました。時間の関係もありあまり奥までいかず 入口付近での散策となりましたが、散策でき良かったです。



10:00 ポーラ美術館見学

駐車場も手前の駐車場に止めさせて貰うことができ入口までスムーズに移動ができました。

館内は、広くエレベーターもあり、車椅子でゆっくり見学することができました。



12:30 箱根湯本駅前の散策

道が混んでいて到着予定が大分遅れましたが、少ない時間ではあったものの散策を楽しみました。

当初の計画では、ここで昼食休憩に入れればいいねと言っていましたが混雑しすぎて入ることができませんでした。お土産物屋は、写真のように入ることができショッピングを楽しむことができました。



14:00 小田原駅前ミナカで昼食

昼食は、フードコートで頂きました。

先についたメンバーが席を取っておいてくれたのでスムーズに座ることができ、店内も見て回ることができました。



15:00 UMECOにて振り返り

ミナカの隣にある「おだわら市民交流センター UMECO」にて振り返りを行いました。

参加者からは、和気あいあいと過ごせて良かったと意見をもらった一方で、来年度以降のキャンプの在り方や運営体制などについての意見が出ました。



6 入浴リフトの使用感

流星館・浴室内の入浴リフトについて実行委員から次のような意見が出たので、ご報告させていただきます。

今回のキャンプでは、星槎大学箱根キャンパスの多目的トイレや入浴リフトを利用させていただきました。バリアフリー設備が整った環境で活動できたことに深く感謝しております。また、このような設備が備わっていること自体が非常に画期的で、多くの参加者にとって心強いものでした。

一方で、実際に入浴リフトを使用した際に、浴槽に肩まで浸かることを期待していたところ、膝下程度までしか浸かれなかったという声の実行委員から寄せられました。そのため、入浴時に少し寒さを感じたり、困惑する場面があったとのことでした。

こうした意見を踏まえ、来年以降は、介助者に水着を着用していただき、リフトで浴槽に移動した後に直接サポートできる方法も検討しています。これにより、より快適で安心して入浴できる環境を目指していきたいと考えています。

素晴らしい設備を活かしながら、利用者の快適性をさらに向上させる工夫を重ねていきたいと思っております。このような貴重な体験の場を提供いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

7 実行委員会について

本事業では、障がい当事者自身が主体的に企画運営に関わる仕組みとして、実行委員会制を導入しております。実行委員会には、有志の障がい当事者とボランティアが参加し、LINEやZoomを活用して打ち合わせや準備を行っています。2024年4月からは月1回のペースでZoom会議を開催し、準備状況の確認や企画内容の検討を進めてまいりました。

障がい当事者が事業の企画運営に携わることで、主体性が育まれるとともに、計画力、協働力、問題解決力など、社会に必要なさまざまなスキルを身につける機会を提供することが、この事業の重要な目的の一つです。また、当事者自身が関与す

ることで、事業内容に多様な視点を反映させることができ、より充実したプログラムの実現につながっています。

一方で、現在の課題として、実行委員のメンバーをさらに増やし、運営体制をより安定させることが挙げられます。今後も、多くの方々に参加を呼びかけることで、障がい当事者が自らの力を発揮し、成長できる環境を提供するとともに、事業の継続性を確保していきたいと考えております。

8 スタッフの役割と運営上の問題点

本事業では、実行委員会制を採用し、スタッフそれぞれが役割を分担して運営を進めています。代表の新井は、外部対応（特に星槎大学箱根キャンパス様との連絡調整）や実行委員会の進行を担当し、薄井は助成金の管理および会計業務を担いました。

しかし、全体を統括するはずの新井が進行状況を十分に把握できておらず、実行委員会の運営が円滑に進まない場面が見られました。その結果、他の実行委員に精神的な負担がかかる事態が生じ、一部の委員に過度な業務負担が集中してしまう運営体制となっていました。

また、運営母体である「ユニバーサル・ピア」の組織体制が十分に整備されておらず、箱根ステップアップキャンプ事業の位置づけや具体的な運営方針が曖昧な点も課題として浮き彫りになっています。このような状況では、事業の拡大や継続的な実施に向けた基盤づくりが困難であることが明らかになりました。

今後、本事業を5年、10年と継続的に発展させていくためには、以下の取り組みが重要となります。

- 実行委員の増員と役割分担の明確化
- 実行委員会の運営体制の安定化
- 「ユニバーサル・ピア」の組織体制の強化と事業の明確な位置づけの確立

これらの課題を一つずつ解決し、より多くの参加者が安心して関われる環境を構築してまいります。

9 今後の改善点と提案

「第1回箱根ステップアップキャンプ」を通じて、多くの学びと貴重な経験を得ることができました。一方で、事業を継続的かつ効果的に運営していくために、以下の改善点と課題が明確となりました。

1. 実行委員会の体制強化

現状、一部の実行委員に業務負担が集中している運営体制を見直し、実行委員の増員と役割分担の明確化を図る必要があります。また、実行委員会の運営を円滑に進めるための仕組みづくりや、新しいメンバーが参加しやすい環境整備が課題です。

2. 運営母体の組織強化

運営母体である「ユニバーサル・ピア」の組織体制を整備し、本事業の位置づけや具体的な運営方針を明確にすることが求められます。これにより、事業の持続可能性を高め、活動全体を安定させる基盤を構築します。

3. 事業規模の拡大と受け入れ体制の整備

参加者の募集規模を拡大するための計画と、それを支える受け入れ体制の整備が課題です。より多くの障がい当事者とボランティアが安心して参加できる環境を整えることで、事業の目的である相互理解の促進と社会参加の支援をさらに充実させたいと考えています。

4. 長期的な視点での事業計画の策定

本事業を5年、10年と継続的に実施していくために、長期的なビジョンを明確化し、それを達成するための具体的な計画を策定します。持続可能な運営体制を構築し、多くの方々に支持される事業を目指します。

これらの課題に真摯に向き合い、改善を進めていくことで、より多くの障がい当事者とそのご家族、そしてボランティアにとって意義深いキャンププログラムを提供していきます。今後も、多くの皆様からのご支援とご協力を賜りながら、次のステップへと進んでまいります。

10,謝辞

最後となりましたが、「第1回箱根ステップアップキャンプ」の開催にあたり、助成金をいただきました「さわやか福祉財団助け合い基金」様に心より感謝申し上げます。今回、15万円の助成をいただいたことで、ボランティアの皆さんの参加費を無料にすることができ、より多くの方に安心してご参加いただける環境を整えることができました。

また、キャンプの宿泊拠点として会場を貸してくださった星槎大学箱根キャンパスの皆様、そして私たちが立ち寄った各所で温かく迎えてくださった皆様にも深く御礼申し上げます。特に、星槎大学箱根キャンパスの安野様から、バーベキューやテントの設営が可能であることを伺い、今後のプログラムに取り入れることで、より「キャンプ」の名にふさわしい企画が実現できるのではないかと考えております。テント泊の体験を希望される参加者にも対応できるよう、さらに工夫を重ねてまいります。

皆様のご協力なくして、このキャンプは開催できませんでした。改めて感謝申し上げますとともに、第2回に向けても引き続きご支援・ご協力を賜れましたら幸いです。

発行 2025年2月

発行者 ユニバーサル・ピア

箱根ステップアップキャンプ実行委員会

連絡先 新井 丈晴(ユニバーサル・ピア代表)

☎ 090-2901-9029 ✉ arai@yunipia.com